

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
柔道整復科											
骨折総論											
対象	1年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	宮本 功三			実務 経験	有	職種	柔道整復師				
授業概要											
<p>柔道整復師が扱う骨損傷は主に外傷性のものであるが、骨損傷を取り巻く環境が変化しているため、多種にわたっての知識が必要になる。そのため、外傷性骨折の基礎となる部分を理解することの他に病的なものの疲労的なものなどを理解することがねらいである。</p>											
到達目標											
<p>骨折総論の理解や探求する力を身につけるために、自発痛、限局性圧痛、介達痛といった疼痛や腫脹、機能障害といった一般外傷症状や異常可動性や軋轢音などの固有症状といった症状を理解すること。骨折の合併症である骨折を起こした外力や骨片転位などで発生する併発症、骨折治療の経過中に骨折の影響や治療法の不備などで発生する続発症、治療終了後も永続的に障害を残す後遺症を理解すること、小児や高齢者の骨折を理解する。</p>											
授業方法											
<p>柔道整復学の基本的なものであり、骨折線の入り方や折れ方、合併症などを理解し、整復操作、危険性などに用いることができる学問である。骨折総論に関しての基礎知識を習得する。</p>											
成績評価方法											
<p>試験と課題を総合的に評価する。</p>											
履修上の注意											
<p>学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>											
教科書教材											
教科書（柔道整復理論編 一般社団法人全国柔道整復学校協会 監修一）に準拠する。											
回数	授業計画										
第1回	骨損傷について										
第2回	骨折の分類(1)										
第3回	骨折の分類(2)										

第4回	骨折の分類(3)
第5回	骨折の症状(1)
第6回	骨折の症状(2)
第7回	骨折の合併症(1)
第8回	1回～7回までの振り返り
第9回	骨折の合併症(2)
第10回	小児の骨折
第11回	高齢者の骨折
第12回	骨折の癒合日数
第13回	骨折の治癒経過
第14回	骨折の予後
第15回	9回～14回までの振り返り